

安全データシート(SDS)

1. 製品及び会社情報

製品の名称 **ドータイト D-362**
 製品コード 5126101

 会社名 : 藤倉化成株式会社
 住所 : 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル
 担当部門 : 電子材料事業部
 担当者 : 渡辺 聡
 連絡先 : TEL 03-3436-1100 FAX 03-3436-5416
 緊急連絡先 : TEL 0480-57-1155 環境安全部(鷺宮事業所内)
 製品の種類 : 導電性ペースト
 主な用途 : 回路接点形成
 制定日 : 2015年03月31日

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】	【分類区分】	【危険有害性情報】
引火性液体	区分2	引火性の高い液体および蒸気
急性毒性	経口	区分外
	経皮	区分外
	吸入:ガス	分類できない
	吸入:蒸気	区分4
吸入:粉塵, ミスト	分類できない	
皮膚腐食・刺激性	区分2	皮膚刺激
眼損傷・刺激性	区分2	重篤な眼への刺激
呼吸器感作性 固体/液体	分類できない	
	気体	分類できない
皮膚感作性	区分1	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖細胞変異原性	区分外	
発がん性	区分外	
生殖毒性	区分1	生殖能または胎児への悪影響のおそれ
授乳に対する、または授乳を介した影響に関する追加区分	分類できない	
特定標的臓器／全身毒性 (単回暴露)	区分1	臓器の障害 (呼吸器系 中枢神経系)
	区分3	呼吸器への刺激のおそれ 眠気およびめまいのおそれ
特定標的臓器／全身毒性 (反復暴露)	区分1	長期または反復暴露による臓器の障害 (眼 呼吸器 中枢神経系 腎臓)
吸引呼吸器有害性	区分外	
水生環境有害性(急性)	区分2	水生生物に毒性
水生環境有害性(慢性)	区分3	長期的影響により水生生物に有害
オゾン層への有害性	分類できない	

【絵表示】



炎



感嘆符



健康有害性

【注意喚起語】

危険

【注意書き】

- 誤飲、吸入、皮膚に触れたりすると中毒やかぶれを起こす恐れがあるので、取り扱いには十分注意する。
1. 取り扱い作業は、換気のよい、火気の無い所で行い、局所排気装置を設ける。
 2. 皮膚に触れないようにし、適切な保護具(保護マスク、保護めがね、保護手袋、長袖の作業衣等)を着用する。
 3. ペーストの付着したウエス等は廃棄するまでは必ず水につけておく。
 4. シンナー遊び、汚れ落とし等、本来の用途以外に使用しない。
 5. 蒸気、ガスを吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診察を受ける。
 6. 目に入った場合には多量の水で洗ったあと、また誤って飲みこんだ時は、出来るだけ早く医師の診察を受ける。
 7. 皮膚に付着した場合には直ちに多量の石鹼水で洗い落とし、医師の診察を受ける。
 8. 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器等を用いて消火する。
 9. 容器を密閉して、直射日光を避け換気のよい冷暗所に保管する。
 10. 子供の手の届かない所に保管する。
 11. 容器は中身を使いきってから、廃棄する。
 12. 内容物／容器は、国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄する。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量(危険有害性物質を対象)

成分名	CAS No.	含有量(%)	備考
銀	7440-22-4	39	PRTR1種 No.82
トルエン	108-88-3	45	PRTR1種 No.300

4. 応急措置**【目に入った場合】**

- ・直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
- ・コンタクトレンズ着用の場合にはできるかぎりはずす。出来るだけ速く医師の診断を受ける。

【皮膚に付着した場合】

- ・付着物を布にて素早く拭き取る。衣服についた場合は直ぐに着替える。
- ・直ちに大量の水と石鹼または皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い流し、医師の診察を受ける。

【吸入した場合】

- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。
- ・蒸気、ガスなどを大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
- ・呼吸が不規則か止まっている場合には人工呼吸を行なう。嘔吐物は飲みこませない。直ちに医師の手当を受ける。

【飲み込んだ場合】

- ・誤って飲み込んだ場合には、安静にして、出来るだけ早く医師の診断を受ける。嘔吐物は飲み込ませない。

5. 火災時の措置

使用可能消火剤 水[×] 炭酸ガス[○] 泡[○] 粉末[○] 乾燥砂[○]

消火方法

- ・適切な保護具(耐熱着衣など)を使用する。
- ・指定の消火剤を使用する事。
- ・可燃性の物を周囲から、速やかに取り除くこと。
- ・消火活動は風上より行なう。
- ・水を用いてはならない。

6. 漏出時の措置

- ・付近の着火源、高温体および可燃物を速やかに取り除く。
- ・着火した場合に備えて、粉末または泡消火器を用意する。
- ・作業の際には適切な保護具(手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグルなど)を着用する。
- ・乾燥砂、土、その他不燃性のものに吸収させて回収する。大量の流出には、盛り土で囲って流出を防止する。
- ・衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
- ・流出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置する。

7. 取扱い及び保管上の注意

【取扱上の注意】

- ・換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。
- ・周囲で火気、スパーク、高温物を使用しない。
- ・静電気対策のため、装置類は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)のものを使用する。
- ・液体の輸送、汲み取り、攪拌などの装置についてはアースをとり、工具は火花防止型のものを使用する。
- ・皮膚、粘膜、着衣に触れたり、目に入らないように、適切な保護具(保護マスク、保護めがね、保護手袋、長袖の作業衣等)を着用する。
- ・使用済みの空容器は一定の場所を定めて集積する。
- ・使用済みのウエス、塗料カス、ダストなどは、廃棄するまでは必ず水に漬けておく。
- ・シンナー遊び、汚れ落とし等、本来の用途以外に使用しない。

【保管上の注意】

- ・容器を密閉して、冷暗所に保管する。
- ・火気、熱源、直射日光から遠ざけて保管する。
- ・子供の手の届かない所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

【設備対策】

- ・取扱い設備は防爆型を使用する。
- ・排気装置を設けて、蒸気が滞留しないようにする。
- ・屋内作業の場合は、局所排気装置などにより、作業者が蒸気などの暴露を避けられるような設備対策を講じる。

【保護具】

- ・呼吸器系の保護 : 密閉された場所で扱う時は、送気マスクを使用する。
- ・目の保護 : 保護めがね、ゴーグルを着用する。
- ・皮膚の保護 : 有機溶剤が浸透しない材質の手袋を着用する。

組成物質の許容濃度

物質名	日本産業衛生学会	ACGIH(TLVs-TWA)
銀	データ無し	0.1mg/m3
トルエン	50ppm 188mg/m3	20ppm

9. 物理的及び化学的性質

状態:	液体[○] 気体[×] 固体[×]	色:	銀黄色
臭い:	溶剤臭	爆発限界:	1.1vol% (下限) 7.1vol% (上限)
pH:	該当しない	溶解度:	データ無し
融点:	データ無し	蒸気圧:	3800Pa(25°C)
沸点:	110.6°C	蒸気密度:	データ無し
引火点:	4.0°C	密度:	1.3-1.5g/cm3
		n-オクタノール/水分分配係数:	データ無し
		発火点:	480°C
		分解温度:	データ無し
		その他:	特になし

10. 安定性及び反応性

【製品の安定性】

通常の取扱いでは安定。

【避けるべき条件】

特になし。

【混触危険物質】

特になし。

【危険有害な分解生成物】

燃焼によりCO, CO2, その他低分子モノマーなどの有害ガスが発生する。

【その他の危険情報】

特になし。

11. 有害性情報

成分の健康有害性情報 表1

物質名	急性毒性(LD50,LC50等)				
	経口	経皮	吸入(ガス)	吸入(蒸気)	吸入(粉塵、ミスト)
銀	区分外 >5,000mg/kg	区分外 >2,000mg/kg	分類対象外	分類できない	分類できない
トルエン	区分外 5000mg/kg	区分外 12000mg/kg	分類対象外	区分4 4000ppm	分類できない

成分の健康有害性情報 表2

物質名	皮膚腐食・刺激	眼損傷・刺激	呼吸器感受性	皮膚感受性	生殖細胞変異原性	発がん性
銀	区分外	区分2B	分類できない	区分1	分類できない	分類できない
トルエン	区分2	区分2B	分類できない	区分外	区分外	分類できない

成分の健康有害性情報 表3

物質名	生殖毒性	特定標的臓器(単回)
銀	分類できない	区分1(呼吸器系)
トルエン	区分1A	区分1(中枢神経系) 区分3(気道刺激性、麻酔作用)

成分の健康有害性情報 表4

物質名	特定標的臓器(反復)	吸引性呼吸器有害性
銀	区分1(眼、呼吸器)	分類対象外
トルエン	区分1(中枢神経系、腎臓)	区分1

12. 環境影響情報

成分の水性環境有害性情報

物質名	水性環境有害性(急性)	水性環境有害性(慢性)
銀	分類できない	分類できない
トルエン	区分2	区分3

13. 廃棄上の注意

- ・容器は中身を使いきってから、廃棄する。
- ・廃容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。
- ・容器、機械などを洗浄した排水などは、地面や、排水溝へそのまま流さない。
- ・排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理および清掃に関する法律および関係する法律に従って処理を行うか、処理を委託する。
- ・本製品は貴金属を含有するので、できる限りリサイクルを行う。

14. 輸送上の注意

共 通 : 取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従って下さい。
 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従って下さい。
 海上輸送: 船舶安全法に定めるところに従って下さい。
 航空輸送: 航空法に定めるところに従って下さい。
 国連番号: 1263

15. 適用法令

- 労働安全衛生法 : 表示物質含有 通知物質含有 危険物(引火性の物)
- 有機溶剤中毒予防規則 : 第二種有機溶剤含有物
- 化学物質排出把握管理促進法 : 第1種指定化学物質含有
- 消防法 : 第4類第1石油類 危険等級II
- 船舶安全法 : 中引火点引火性液体
- 航空法 : 引火性液体
- TSCA : 製品の成分はすべてTSCAに登録されています。
- EINECS : 製品はEINECSに登録されている成分及びポリマーで構成されています。
- IECSC : 製品の成分はすべてIECSCに登録されています。

16. その他の情報

- 【主な参考文献】
- ・GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック(日本塗料工業会)
 - ・モデルMSDS・モデルラベル事例集(日本塗料工業会)
 - ・原材料物質データベース(日本塗料工業会)
 - ・化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS関係省庁連絡会議)
 - ・化学物質総合情報提供システム(製品評価技術基盤機構)
 - ・安全衛生情報センター オンライン安全衛生情報 (中央労働災害防止協会)
 - ・国際化学物質安全性計画(IPCS)
 - ・国際化学物質安全カード(ICSC)
 - ・危険防災救急便覧
 - ・溶剤ポケットブック

・記載内容は現時点で入手できた資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、完全性を保証するものではありません。なお新しい知見によって改訂されることがあります。
 ・注意事項は通常の取り扱いを対象としたものです。特別な取扱いをする場合には、新たに特殊な用途・用法に適した安全対策を講じた上でご使用下さい。
 ・全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意を払っていただくことが必要です。ご使用者・取扱者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。